

# 第8回 病院ふれあいフェスタ

～ふれあい～  
心と心をつなぐみんなの病院

2,200人の来場者で賑わいました！

11月12日、第8回病院ふれあいフェスタを開催しました。普段は入ることのできない手術室で模擬手術を体験する体験コーナーや、食事相談や運動相談コーナーなどさまざまなイベントを実施しました。



プチナースに変身！



「おいしいコーナー」の様子



電気メスを使って手術体験！



研修医が販売するフラクフルト、毎年人気です。



内視鏡手術練習器の体験！うまく操作出来たかな？



心臓マッサージとAED体験



ハンドマッサージ、気持ちよさそうですね

## 急性期医療を担う、看護師・助産師を募集中！

### 正規職員

昭和46年4月2日以降に生まれた、看護師もしくは助産師の免許を持つ人で、交代勤務のできる人。

### 当院紹介

右のQRコードより、当院のホームページをご覧になれます。



### 臨時職員

フルタイム・パートタイムで勤務可能な看護師・助産師。また、救急外来などの夜間専従看護師も募集しています。夜間専従看護師の勤務は3日に1回、月10回程度です。

### 申し込み・問い合わせ

病院総務課 人事係  
TEL:646-1111(内線 7120)

藤枝市立総合病院だより

# おもいやり

O-moi-yari

2017 冬号  
No.73

Fujieda Municipal General Hospital

## 年頭挨拶



事業管理者 毛利博

明けましておめでとうございます。今年が皆さんにとって素晴らしい1年であることを祈念いたします。

今年はいくつか明るいニュースを皆さんに届けられそうです。第一に当院の救急センターが、救命救急センターの指定を受けられそうということ。これまで志太平原地域には救命救急センターがありませんでした。当院は救急センターの建設以後、救急専門医等を招聘し、治療実績を積み重ね、圏域の皆様へ信頼される施設となってきました。これらが実を結び、桜の咲く頃には皆様にご報告できることを期待しております。

救急には脳神経外科の充実が必要です。当院では常勤の脳神経外科医が一時期、不在となっていました。現在では2名の常勤医がおり、更に4月には3名体制になります。一刻を争う脳血管疾患に対し、地域の皆様の大きな期待に応えることができるでしょう。

今年が皆さんにとっても飛躍の年になりますように祈念するとともに、病院も皆さんの期待に応えられる施設として頑張っていきますので、応援をお願いいたします。



院長 中村利夫

新年おめでとうございます。本年も皆様にとって良い年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

早いもので院長を拝命し最初のお正月を迎えます。昨年は新米院長としてまずは現場の声が大切と考え、できるだけ病棟や外来に足を運び、有益なご意見をいただくことができました。本年も「現場主義」をモットーとし住民の皆様へ信頼され、職員がやりがいを持って働ける病院であり続けるよう努力してまいります。また地域における急性期病院としての機能を高めるべく本年は救命救急センターを目指すとともに連携をより密なものとした地域完結型医療を進めたいと考えております。何卒ご理解ご支援賜りますようお願い申し上げます。

P1

・年頭挨拶

・副院長  
就任挨拶  
・拡大版  
公開講座の  
お知らせ

P2

P3

・乳がん  
Q & A

P4

・フェスタの  
思い出



副院長  
就任挨拶

副院長 (救急担当) 三木 靖雄



平成 28 年 10 月 1 日付けで副院長を拝命いたしました。  
当院には 4 月 1 日に大学病院から赴任して、約 6 ヶ月で副院長となりました。副院長という役職を拝命した理由としては来年度に向けた当院の救命救急センターの開設という重要な仕事をするためです。地域包括医療に向けて日本の医療が進んでいます。この志太榛原医療圏でも地域で完結できる医療を目指すことが必要です。そのためには重症患者さんを救命救急センターで診る体制を作ることにより地域での医療の完結が可能となってきます。  
藤枝市立総合病院が救命救急センターとなり、この地域の最後の砦となるように努力してゆきます。どうぞよろしくお願いいたします。

# 藤枝市立総合病院 市民公開講座

日時：平成 29 年 2 月 11 日 (土)  
13:30 ~ 16:00 (13:00 開場)  
場所：藤枝市民会館

拡大版

参加費無料  
事前申込不要



## ● ご挨拶

藤枝市立総合病院開設者  
藤枝市長 北村 正平

藤枝市立総合病院  
事業管理者 毛利 博

藤枝市立総合病院  
院長 中村 利夫

## ● 基調講演

三次救急について

藤枝市立総合病院  
副院長 三木 靖雄

## ● パネルディスカッション

地域の救急医療について

コーディネーター：  
藤枝市立総合病院 副院長 関谷 洋

パネリスト：  
藤枝市男女共同参画推進センター  
運営協議会 会長 池谷 照代

志太消防本部 消防長 平口 恭利

藤枝市立総合病院  
救急センター医長 増田 崇光  
救急看護認定看護師 實石 光歩

# あなたに合う医療機関はどこ？ 乳がん Q&A



外科 科長  
長谷川 聡

## Q. 質問

- Q1 「乳癌かも」と思ったとき何科の外来に行けばいいでしょうか？
- Q2 治療にかかわる専門家はいますか？ (自称専門家ではありません！)
- Q3 病理診断の体制はできているのでしょうか？
- Q4 手術で失った乳房は再建できるのでしょうか？
- Q5 乳がん詳しい看護師はいますか？
- Q6 2016年に乳がんの手術を受けた人は何人でしたか？
- Q7 外来化学療法センターの体制について教えてください
- Q8 リンパ浮腫の治療はできますか？
- Q9 再発患者の受け入れは可能でしょうか？
- Q10 がんに関する「よろず相談窓口」はありますか？
- Q11 施設の特徴は？

## A. お返事

- A. 婦人科ではなく、当院では外科ですが、乳腺外科や乳腺科という名称の方が分かりやすいかもしれません。
- A. 日本乳癌学会の乳腺専門医(乳がん治療の中核となる)がいます。当院は日本乳癌学会の認定施設です。日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医はいませんが、日本医学放射線学会治療専門医(放射線治療の専門家)がいます。
- A. 日本病理学会の病理専門医が常勤しています。乳がん以外の疾患も診断しています。
- A. 乳房再建を手がける形成外科医がいます。日本乳房オンコプラステックサージャリー学会から乳房再建用エクスパンダー/インプラント実施施設の認定を受けています。
- A. がん専門看護師・化学療法看護・がん放射線看護・緩和ケア認定看護師などがんに関連する認定看護師・専門看護師が6名います。
- A. 乳がん手術を受けた人は、124人いました。そのうち、乳房切除を受けた患者さんは60人で、乳房切除術を受けた患者さんのうち、乳房再建(一期)を行った人は5人でした。また、64人の方が乳房温存術を受けています。
- A. 通院治療用のベッド数が8台、リクライニングチェアが4台あります。乳がんでは手術以上に薬物療法が重要です。乳癌の治療成績を改善したのは手術ではなく薬物療法です。今や抗癌剤は外来で行うのが常識です。
- A. リンパ浮腫外来があります。手術を受けるすべての方に手術の前に両側の上肢の周径を測るようにしていきます。
- A. 可能ですが、多くの方は緩和ケア目的に来院される方がほとんどで、緩和ケア科に介入して頂いています。
- A. がん相談支援センターがあります。ベテランの看護師が中心となり対応しています。なんでもご相談ください。
- A. 限りある医療資源を有効に活用していくために当院では診断・手術・化学療法・放射線治療などを中心として行い、落ち着いた方は地域の医療機関の先生方にご協力を頂き、乳がん患者さんを地域で支えていく体制をとっています。